

# 評価細目の第三者評価結果

(保育所、地域型保育事業)

## I 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果	コメント
I-1-1 (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。			
I-1-1 (1) -① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	ホームページ等への掲載を通して理念・方針の周知に努めている。方針・指示の徹底のほか、現場からのボトムアップに注力がなされており、コロナ禍にあって柔軟な対応に取り組んでいる。	

### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果	コメント
I-2-1 (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
I-2-1 (1) -① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	行政、関係団体、各種媒体を通じて取り巻く環境・動向の把握に努めている。コスト分析、利用者推移、利用者率については、分析、共有し、対応を図っている。	
I-2-1 (1) -② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	職員確保を第一の課題として取り組んでおり、ソーシャルネットワーキングシステムの活用等にて対応にあたっている。また運営に関する世代交代を図り、時代や取り巻く環境への対応を進めていく意向をもっている。	

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果	コメント
I-3-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-3-1 (1) -① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	理念や基本方針のビジョンを明確にしている。運営費・新型コロナウイルスの影響など様々な環境を考慮しながら対応にあたっている。	
I-3-1 (1) -② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	単年度においては要員計画をはじめ、職員配置を中心として安定した運営を図るべく実行に努めている。	
I-3-1 (2) 事業計画が適切に策定されている。			
I-3-1 (2) -① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	新型コロナウイルスの影響により中止、変更を余儀なくされている。新型コロナウイルスの分類変更を経て、行事、マスク着用等衛生面の対応についても協議し対応を進めている。	
I-3-1 (2) -② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a	ホームページ等により園の方針の周知に努めており、ブログにより活動の紹介にあたっている。今後は保護者会の再開などを通して更に園への理解を深めてもらえるよう取り組む意向をもっている。	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果	コメント
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	毎年度行う職員自己評価の実施およびその分析を行い、職員の資質向上に取り組んでいる。コーチングの工夫により能動的な行動をとれるようサポートに努めている。
I-4-(1)-② 評価結果に基づき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	自己評価の分析、職員へのフィードバックを通して改善に取り組んでいる。園全体での共有・職員参画の基、改善計画策定を目標としている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
II-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	組織図、業務分掌を策定し、役割と責任を明示している。職員に任せることで責任感を醸成する方針をとっており、能動的な業務実行を目指し、職員育成に取り組んでいる。
II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	個人情報保護、子どもたちの権利擁護については法令の熟知と遵守に努めている。法人グループ内での検討、職員への周知を通してコンプライアンスを意識した運営に取り組んでいる。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	コーチングの工夫により職員の保守的な意識や行動の変革に取り組んでいる。子どもたちの安全を守るため、要因の追究・情報の共有に努めている。
II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	人事・労務・財務を分析し、利用者・職員への対応・適切な運営に取り組んでいる。食材・エネルギー等の費用高騰に対しても工夫と補助により対応に努めている。

II-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果	コメント
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	職員のキャリア形成を踏まえたクラス編成など職員育成への注力がなされている。退職率の低さ、ソーシャルネットワーキングシステムの活用等により人材確保に努めており、園の立地や財務を考慮しながら要員計画を進めている。
II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a	賃金に関する規定を整備しており、役割、採用、等級、昇進、昇格などを明示している。自己評価のフィードバックを通して職員の意識向上を図っており、非常勤職員の貢献についても評価し、園全体での資質向上に繋げている。

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	年次有給休暇、時間外労働等就業状況の把握と安全衛生への対応にあっている。職員のワークライフバランスへの更なる配慮・福利厚生充実を目標としている。
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員一人一人の育成に向けた取組を行っている。	a	職員自己評価を実施し、分析とフィードバックを職員育成につなげている。目標の設定と達成の確認にあっており、目標管理として醸成させるべく取り組んでいる。
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	キャリアアップ研修計画を策定し、その実行を基本としている。新型コロナウイルスの影響前の教育機会付与体制に戻していくことを目標としている。
II-2-(3)-③ 職員一人一人の教育・研修の機会が確保されている。	a	コロナ禍にあつてオンライン機器を活用しながら内・外部の教育・研修機会の付与に努めている。研修報告の提出をもってその成果の確認にあっている。短時間の研修の活用など更なる研鑽を目標としている。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	行政の状況を考慮しながら実習生の受け入れがなされている。今後の継続性に伴いプログラムの整備をしていく意向をもっている。

### II-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果	コメント
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	ホームページでの発信、ブログでの活動報告などインターネットサイトの活用がなされている。ホームページの閲覧数確認、ソーシャルネットワーキングシステムの利用などがなされており、開かれた保育園が実現している。
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	経理・取り引きに関して規程化がなされており、就業規則そのほかルールが整備されている。法人内部監査、行政による指導等を参考に適切な運営に努めている。法人グループ全体において福祉サービス第三者評価実施に取り組んでいる。

### II-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果	コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	設置ビル内関係機関、法人内他園などとの親睦があるものの、新型コロナウイルスの影響により地域交流が中断・縮小している。終息後の再開が期待される。
II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	新型コロナウイルスの影響により受け入れを縮小している。実習生・就労体験そのほかの今後の状況に応じて受け入れ体制の整備を予定している。

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	玄関には行政等からの配布物を設置し、保護者等への広報がなされている。行政、保育連盟等とは会議等への参加を通して関係構築が図られている。
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	関係団体との連携を通して地域ニーズの把握に努めている。また市内に複数園を運営していることからボトムアップを通じて情報の把握がなされている。
Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a	被災時の避難協力など地域貢献の体制を整えている。今後は子ども食堂の開設など地域への支援について検討対象としている。

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	子どもたちの権利擁護については自己評価等を通して職員への周知に努めている。管理者により日々のラウンドがなされており、気になる対応については都度指導にあたり、子どもたちの安全と権利を守るよう努めている。至った背景を理解し、職員の成長につなげるよう園全体で取り組んでいる。
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	個人情報保護規程の整備、職員への留意指導によりプライバシー保護にあっている。カーテンの活用、建物内の関係性構築など小規模園としてできる対応に努めている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	利用希望者の見学を受け入れており、公開保育の実施により園への理解を深めてもらえるよう努めている。ホームページにはQ&Aが設けられており、見学・離乳食・投薬・送迎対応等について掲載されている。
Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更に当たり利用者等に分かりやすく説明している。	a	入園時にはオムツの廃棄、散歩等戸外活動への注力、撮影、自転車使用など留意事項を説明し、契約書・重要事項説明書への同意を得ている。保護者参加の行事についても具体的な内容と回数を説明し、園の方針への理解が深まるよう努めている。
Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等に当たり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b	サービスの終了等については重要事項説明書に記載し、同意を得ている。契約変更届についてはホームページよりダウンロードできるよう整備している。

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	送迎時のコミュニケーションやアンケート実施等により意向とニーズの把握に努めている。配信システムを利用したアンケート実施を可能としており、更なる利用者意向把握のツールとして機能することが予想される。
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	重要事項説明書への記載を通して苦情解決体制の明示がなされている。相談対応マニュアルを設置しており、対応を図っている。
Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	b	重要事項説明書を掲示・配布し、苦情相談体制の周知にあっている。送迎時のコミュニケーションや連絡帳の使用により自由に意見を述べられる機会を設けている。
Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	苦情相談記録簿が設置されており、記録がなされている。振り返りと共有により職員に周知し、保護者への理解が深まるよう努めている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	子どもたちの安全・緊急時対応等についてはマニュアルを整備している。ヒヤリハットの意識徹底に努め、要因の追究、職員間の共有をもって安全管理の啓発に取り組んでいる。
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	感染症対策マニュアルを設置しており、衛生への留意に努めている。コロナ禍にあっては種々の取り組みにより衛生を確保し、できる限り通常の保育が実施できるよう取り組んでいる。
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	被災時対応についてはマニュアルに掲載し、毎月の避難訓練は地震・火災・不審者等のリスクを網羅しており、万一の事態に備えている。訓練は細かに設定されており、園内だけでなく、戸外活動時なども想定されている。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	安全、業務等のマニュアル、就業規則等諸規程を整備している。流れ、プログラムについても整備し、職員の共有のもと保育が進められている。
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	効率的な業務と発信力の推進を目指しており、ホームページの更新方法について標準化と権限の検討をする意向をもっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画（個別支援計画）を適切に策定している。	a	入園時など様々な機会に家庭・健康等の状況を書面にて提出してもらい、発達・発育の状況を児童票に加えながら一人ひとりの記録を継続・保管している。年齢ごとに定めた年・月・週の指導計画をもとに子どもたち一人ひとりへの対応を進めている。
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画（個別支援計画）の評価・見直しを行っている。	a	指導計画については法人内外を含めたグループにて検討がなされている。月・週の指導計画は期間内の振り返りをもって修正を図っている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況（個別支援計画）の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	日々の保育、子どもの健康状態については、定められた様式により記録をしている。留意事項・伝達事項がわかりやすいよう・共有しやすいよう工夫されており、園全体で共有できるよう努めている。子どもたちの様子や状況は更にピンポイントかつシンプルな記録としていくことを目標としている。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	子ども・保護者の個人情報を含む記録については法令をもとに適正な管理にあたっている。また職員からも守秘に関して宣誓を得ており、適切な使用を義務づけている。

A 個別評価基準

A-1 保育内容

	第三者評価結果	コメント
A-1-1 (1) 全体的な計画の作成		
A-1-1 (1) -① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a	めざす理念、方針の実践をもとに目標や具体的保育内容を記した全体的な計画が策定されている。法人グループ内における施設長会議において評価・検討をし、次期につなげている。
A-1-1 (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A-1-1 (2) -① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。	a	限られたスペースの有効活用、外遊びへの注力により多様な活動への工夫がなされている。また消毒等衛生面での配慮により、子どもたちが安心して過ごせるよう努めている。「プランターにて花や野菜を植える、小動物を飼育する」などゆっくと土や生き物等自然に触れる機会を作っていく意向をもっている。
A-1-1 (2) -② 一人一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	職員間で共有しながら個々の発達過程に合わせる保育に努めている。子どもたち一人ひとりに対する声掛けについても検討しながら・相談しながら対応に取り組んでいる。職員個人・クラスだけでなく、園全体で情報を共有し、都度管理職が指導しながら保育を進めている。
A-1-1 (2) -③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。	a	基本的な生活習慣の習得をはじめ、保育全般において無理強いすることなく子どもの気持ちを大切にしよう努めている。園外での遊び、近隣の方々との交流を通してルールや挨拶を覚えられよう活動が計画・実施されている。
A-1-1 (2) -④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	子どもの興味・関心、好きな場所や遊びを職員が把握し、子どもの意欲や楽しみを大切にすることが心掛けられている。上手くできた時は賞賛するなど一人ひとりの意欲を引き出すよう取り組んでいる。
A-1-1 (2) -⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	情緒の安定と職員との愛着形成をねらいとし、子どもたちが安心して過ごせる環境の形成に取り組んでいる。環境に適応し、楽しく毎日が過ごせるよう活動に配慮している。
A-1-1 (2) -⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	基本的な生活習慣の習得、他者への思いやりを形成するなど保育のねらいが各種計画に盛り込まれている。異年齢による関わりや英語教室等にも注力がなされており、多様な活動を通して表現する楽しみを身につけられるよう取り組んでいる。

A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	d	「評価外」
A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	行政の巡回・保健師からの指導等を参考にし、発育・発達への考察を進めている。保護者との連携の中で子どもたち一人ひとりに沿った保育計画の立案と実践に取り組んでいる。
A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	職員間による声掛けと情報共有を大切にし、穏やかに過ごせる環境形成と運営に努めている。朝夕の少人数になる時間帯も同じ内容にならないよう・好きな遊びができるよう玩具の選別と工夫に努めている。また不安になる子どもに対しては気持ちに寄り添うようスキンシップ等配慮に努めている。
A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	d	「評価外」
A-1-(3) 健康管理		
A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	0歳児には、職員の見守りと共にベビーセンスを導入し、安全な睡眠環境への整備がなされている。乳幼児突然死症候群に関しては家庭での留意も必要としており、入園時の説明に加えていくことを検討している。
A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	内科検診、歯科検診の定期的実施と保護者への結果報告がなされている。年度において保健計画が立案されており、職員間での共有と把握、子どもたち一人ひとりへの健康管理への配慮をもって取り組んでいる。
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	医師の診断書や指示書のもと与薬や対応を定め、安全に過ごせるよう活動や食事提供への配慮に取り組んでいる。職員間での情報共有、マニュアルの設定、研修の実施、個別対応の徹底等安全管理体制の整備にあたっている。
A-1-(4) 食事		
A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	声掛けに配慮し、食事が楽しい時間になるよう工夫を凝らしている。季節に応じてクッキングやスイカ割り等が食育計画により設定されており、興味と関心が引き出せるような実施がなされている。
A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	喫食状況を確認し、子どもたち一人ひとりの発達段階に応じた食事提供に取り組んでいる。苦手な食材については単体提供せず、調理段階において工夫し、残食の減少を実現している。献立表が毎月配布されており、味覚に幅を広げられるよう更に保護者との連携を進めていくことを目標としている。



A-2 子育て支援

		第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	業務支援システムによる連絡帳でのやりとり、登降園時のコミュニケーションにより家庭との連携を図っている。園だより・給食だより・ブログでの活動報告を通じて情報発信し、園への理解が深まるよう努めている。	
A-2-(2) 保護者等の支援			
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	苦情相談窓口の設置等保護者が相談や苦情を気軽に申し出ることができる体制が整備されている。外国籍の保護者等に対しても繰り返し・丁寧に対応するよう支援にあたっている。	
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	登園時・着替え時・オムツ交換時等での視診と観察により子どもたちの健康状態の把握に努めている。行政等関係機関とは情報共有と連携を図り、早期の対応に努めている。	

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）			
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	職員全員による自己評価を実施しており、目標への達成度を可視化している。職員自身および園が振り返る機会を設け、職員が経験を積むことで保育や対応への自信を深められるよう取り組んでいる。	